

# ウォームアップ・ギャラリー 絵筆のおしゃべり

「筆」は、水彩画や習字を通して、私たちに身近な存在です。年賀状や芳名帳のサインに用いられるように、ちょっとあらたまった気持ちにさせてくれるものでもあります。

美術では、「絵筆」はどんな活躍をみせているのでしょうか。水墨画の伝統をいかした筆づかいをみせる日本画、焼き物の絵付け、油絵具ならではの重厚な筆触、さらには現代の先鋭な表現まで、さまざまな「筆あと」により、魅力あふれる作

品がうみだされています。

「ウォームアップ・ギャラリー」は、したしみやすいアプローチによって、美術作品の魅力を紹介し、眼とところをのびのびとほぐしていただく展覧会です。

濃く薄く、太く細く、かすれたり、にじんだり。「筆あと」のゆたかな表現の世界に、ひととき、ところをあそばせてください。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	李 禹煥	点より、線より 点より	1978(昭和53)年	石版・紙
2	岡崎 南田	飲中酒酔客	1931(昭和6)年	紙本彩色・軸

## 日本画にみる筆あと

3	松林 桂月	新緑	1962(昭和37)年	絹本彩色・軸
4	山本 正年	花 花生	1965(昭和40)年	陶
5	山内 弥一郎	霜の朝	1926(大正15)年	紙本墨画・軸
6	小杉 放庵	水亭小集	1940(昭和15)年頃	紙本墨画・軸
7	野田 九浦	芭蕉の里	1919(大正8)年	紙本彩色
8	筆谷 等観	登山の図	大正中頃	絹本彩色・軸
9	綱島 静観	曳舟の図	大正中頃	絹本彩色・軸
10	益田 春光	瑞祥双雅	1974(昭和49)年	紙本墨画淡彩・屏風(四曲一双)

## 洋画にみる筆あと

11	有島 武郎	やちだもの木立	1914(大正3)年	油彩・キャンバス
12	工藤 三郎	荷を運ぶ人々	1915(大正4)年	油彩・キャンバス
13	能勢 真美	初秋の庭	1966(昭和41)年	油彩・キャンバス
14	深井 克美	バラード	1973(昭和48)年	油彩・キャンバス
15	ハイム・スーチン	祈る男	1921年頃	油彩・キャンバス
16	木田 金次郎	秋のモイワ	1961(昭和36)年	油彩・キャンバス
17	間宮 勇	雪景(川沿の雪)	1965(昭和40)年	水彩・紙
18	繁野 三郎	山麓秋色	1982(昭和57)年	水彩・紙

ビデオ上映 色彩のモザイクー繁野三郎の水彩画(約8分) 1982(昭和57)年 制作:北海道立近代美術館

## 現代の筆あと

19	難波田 龍起	秋の詩	1961(昭和36)年	油彩、エナメル・キャンバス
20	小野 州一	ロンド	1962(昭和37)年	ドンゴロス・パテ
21	後藤 和子	SHOKU 88-1	1988(昭和63)年	グワッシュ、墨、アクリル絵具・紙
22	米谷 雄平	作品88-8	1988(昭和63)年	アクリル絵具・和紙
23	小枝 繁昭	Still Life on the Table #11	1991(平成3)年	シルクスクリーン・紙
24	山本 正年	花生	不詳	陶
25	李 禹煥	点より、線より 線より	1978(昭和53)年	石版・紙
26	宮下 貞一郎	白釉縞鉄絵角皿	不詳	陶
27	李 禹煥	線より #80057	1980(昭和55)年	岩絵具・キャンバス
28	越谷 賢一	川	1984(昭和59)年	シルクスクリーン・アルミニウム、板

DVD上映 KYOTO ART TODAY:STUDIO VISIT Vol.2 小枝繁昭(約5分) 1992(平成4)年 制作:The Ufer! Gallery

DVD上映 李 禹煥 響き合いの芸術(約17分) 2005(平成17)年 撮影:荒木隆久 編集:上杉明子 制作・所蔵:横浜美術館

\* No.11は北海道大学蔵(当館寄託)、他はすべて北海道立近代美術館蔵